

令和5年度下山小学校学校教育ビジョンの評価結果についてお知らせします。

＜まなびプロジェクト＞ 自分の考えをもって、友達と学び合う子の育成

達成目標① 授業で自分の考えを進んで伝えていると自己評価する児童が70%以上

達成目標② 「下山授業スタイル」を意識した授業を行っている教職員が80%以上



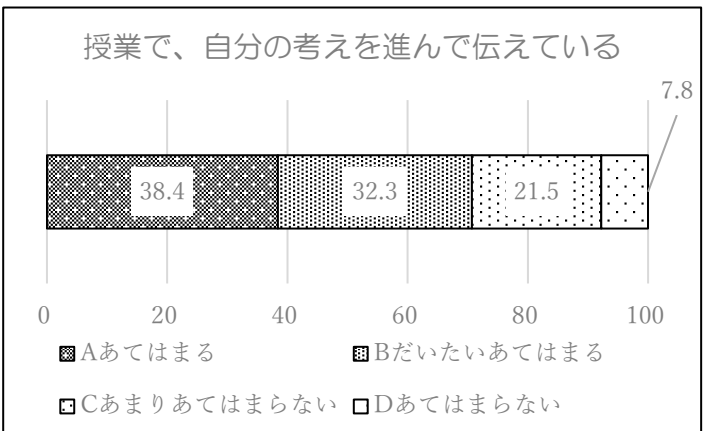
今年度は、「下山授業スタイル」課題提示→個人思考→ペア・グループ対話→全体検討・まとめ→振り返りの中で、児童に考えをアウトプットさせるための大本である課題意識をもたせる場面に重点をおいて、授業研修に取り組みました。学年で、事前の検討会、授業後の協議会も行い、授業研修を積み上げてきました。

児童アンケートでは、授業で自分の考えを進んで伝えている児童の割合は、あてはまる38.4% だいたいあてはまる32.3%で、肯定的評価は70.7%となりました。

さらに、1月に、教職員間で考えを伝える児童の姿を再確認するとともに、児童にも考えを伝える姿を可視化したことで、2月のアンケートでは92%の児童が肯定的に評価をしました。

また、達成目標の二つ目につきましても、教職員評価では100%となりました。

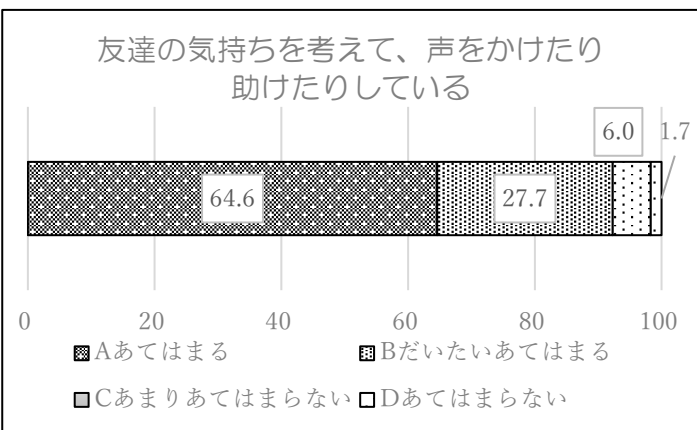
次年度は、下山授業スタイルと一人一授業研修を結び付けて行うことで、子どもたち一人一人が考えをもって、「まなびをあきらめない力」を育成していこうと考えています。



＜かかわりプロジェクト＞ 友達を思いやり、互いに助け合う子の育成

達成目標① 学級や異学年間での活動で、相手の気持ちを考え助け合っている児童が85%以上

達成目標② 友達とかかわって活動することにとっても満足している児童が80%以上



かわり合う場を多く設定するとともに、それぞれの活動において、自分でできるサポートを考え、行い、振り返り、称賛し合うピア・サポート活動を合わせて行いました。

児童アンケートでは、友達の気持ちを考えて、声を掛けたり助けたりしていると答えた児童の肯定的評価の割合は、92.3%となりました。

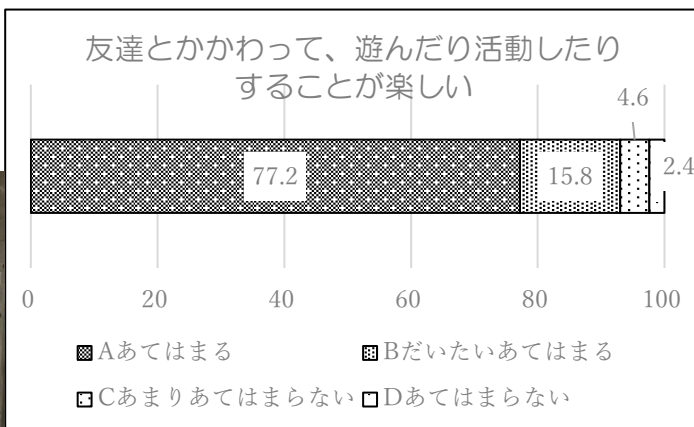
今年度は、猛暑の影響と感染症の流行により、予定していた「なかよし遠足」は残念ながら実施できませんでした。その代わりに「なかよしDAY」を行いました。この日は1日全校縦割り班のなかよし班で過ごしました。下山小学校O×クイズ、校内ウォークラリー、みんなでジャンプ、5年生が考えた遊びを行いました。それぞれの学年で役割をもち、それを果たしながら楽しく過ごしました。

また、今年度もなかよし班での清掃や、学級・なかよし班で遊ぶ「なかよしタイム」、「ウキウキフェスティバル」を行い、児童のか



二つ目の友達とかかわって活動することにとっても満足していると答えた児童の肯定的評価の割合は、93%となりました。

次年度も、今年度行った縦割り班活動、ピア・サポート活動と遊びの活動を、より充実させていくことで、多様性を受け止めて、相手とよりよくかわる力を育成していこうと考えています。

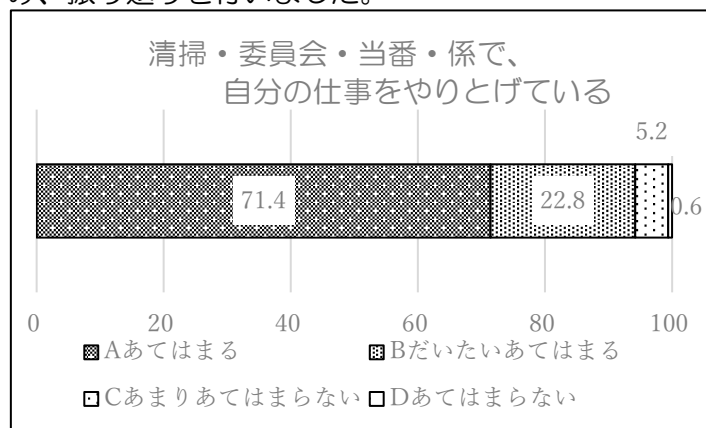


<くらしプロジェクト> 責任を果たし、めあてに向かってやり遂げる子の育成

達成目標① 自分の仕事（清掃・委員会・係・当番）で、自分の役割をやり遂げている児童が 80%以上

達成目標② 挨拶強調週間で、友達や先生、地域の方に自分から気持ちのよい挨拶をしている児童が 85%以上

今年度も、前向きなよい行動を児童に示すとともに、「Good Job カード」を使って児童のよさや頑張りを教職員が認めたり、帰りの会で「今日の Good Job さん」を児童が紹介し合ったりするなどしてきました。また、気持ちのよい挨拶達成に向けた自己目標を、児童一人一人が設定して挨拶運動に取り組み、振り返りを行いました。



児童アンケートでは、自分の役割をやり遂げていると自己評価をした児童の割合は 71.4%となり、残念ながら 80%に届きませんでした。

そこで、これまでの取組に加え 1月に「Good Job の木」をつくり、子どもたちの頑張りを見える化する活動を行いました。清掃や係、当番や委員会活動などで役割をやり遂げた児童に、教職員が「Good Job カード」を渡しま



す。児童はカードに自分の名前を書き、学年ごとの「Good Job の木」にカードを貼りました。この活動後のアンケートでは、「やり遂げている」と評価した児童の割合は 92%となりました。頑張りを認め、児童に自覚させる手立てを今後も続けていきたいと考えています。また、挨拶強調週間での児童の A 評価の割合は、86.5%となりました。

次年度は、「Good Job の木」のように、頑張りの見える化などで、望ましい行動、よい挨拶の姿を自分事として捉えられるような働き掛けを続けることで、自分で判断して行動する力を育成していきたいと考えています。

<学びを保障する特別支援教育> 一貫した支援を行うための校内体制の確立

達成目標① 対象児童について個別の指導計画を作成し、それに基づいた支援を行い、目標を達成することができた教職員が 100%。

達成目標② UDL の視点で、教室環境の整備や指導法の工夫を行っている教職員が 100%

今年度も、個別の指導計画の作成を進め、保護者と共通理解を図り、支援に基づいて加除・修正・強化しながら、個々の教育的ニーズに応じた支援を推進しました。また、UDL の視点で教室環境の整備や指導法について、教職員間で共通理解を図り、全校体制で取組を進めてきました。

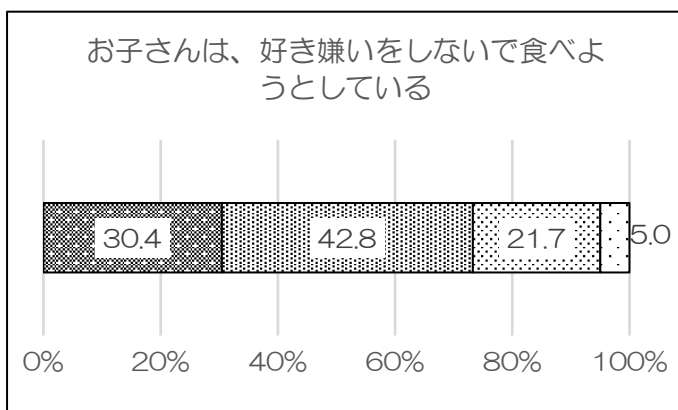
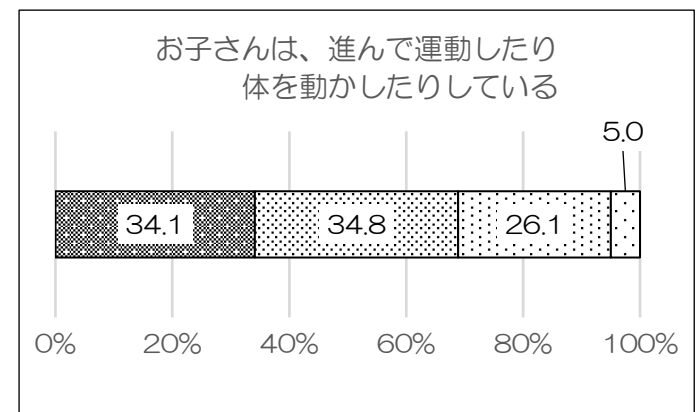
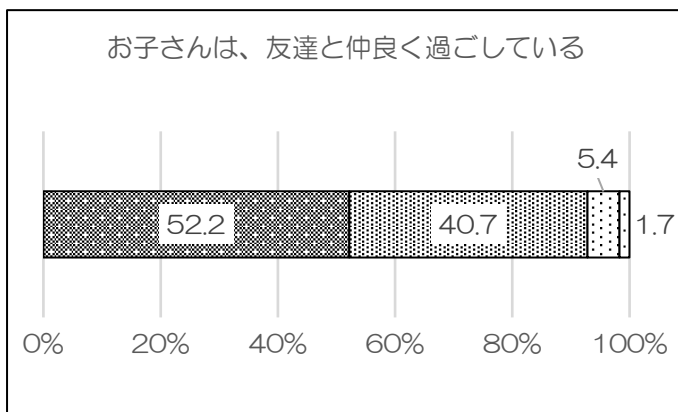
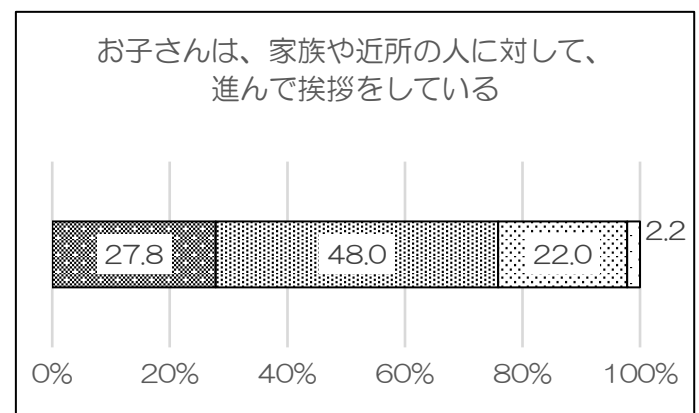
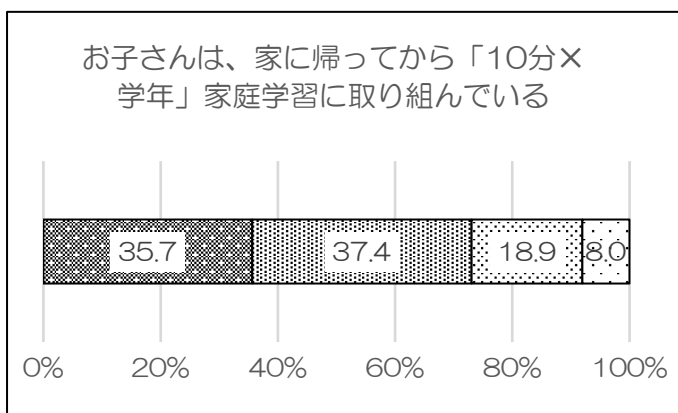
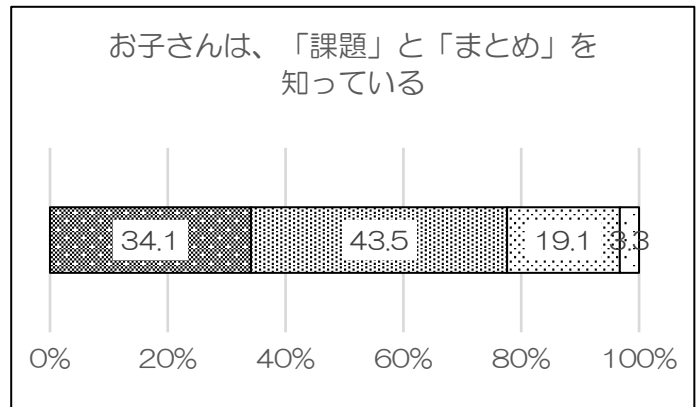
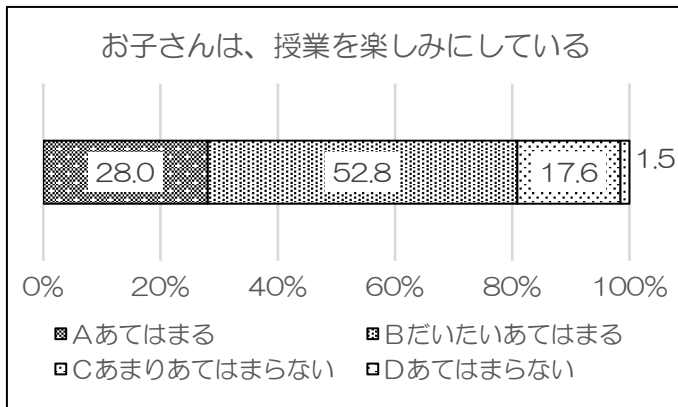
今年度の取組の結果、個別の指導計画に基づいた支援を行い、目標を達成することができた教職員の割合は 96.4%となりました。計画の作成、それに基づいた支援の実施は 100%でしたが、残念ながら達成目標には届きませんでした。二つ目の評価基準、教室環境の整備や指導法の工夫についても 93.1%で目標に届きませんでした。

次年度は、個別の指導計画目標達成 100%を目指し、目標設定と実施に関する研修の実施、及び下山スタンダードと関連付けた UDL の基準を設定し、全職員が足並みを揃えてサポートしていくことで、自分のよさを見付けて、生かそうとする力を育成していきたいと考えています。

12月のアンケートでは、保護者の皆様から460件の回答をいただきました。お忙しい中、アンケートへの回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者アンケートの結果をお知らせいたします。

【保護者アンケート】

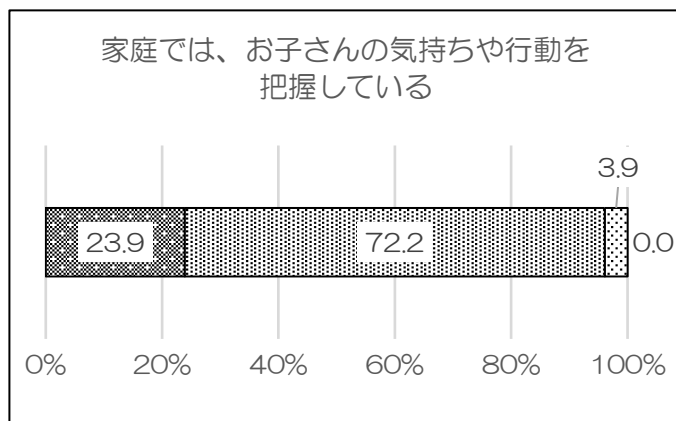
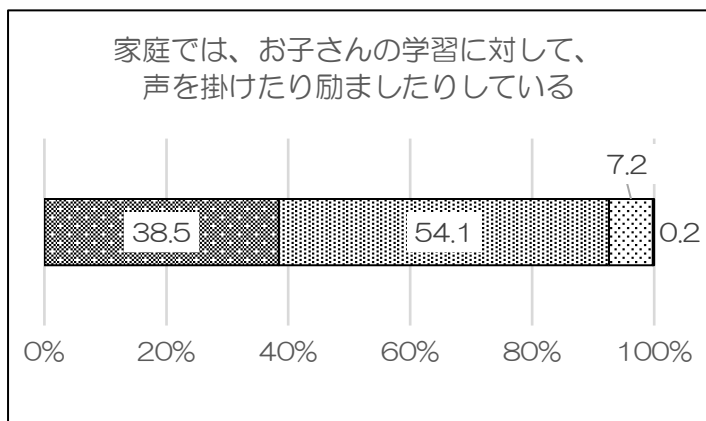
<児童について>



80.2%の保護者の方から、お子さんが「授業を楽しみにしている」と肯定的に答えていただきました。また、「友達と仲よく過ごしている」と肯定的にこたえてくださった保護者の方も92.9%と、とても高い割合になっています。

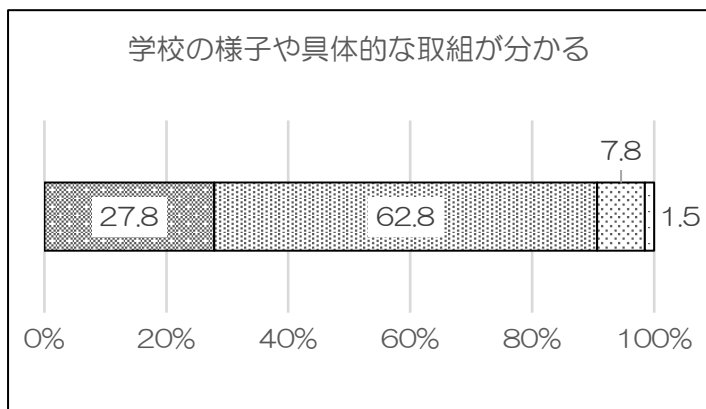
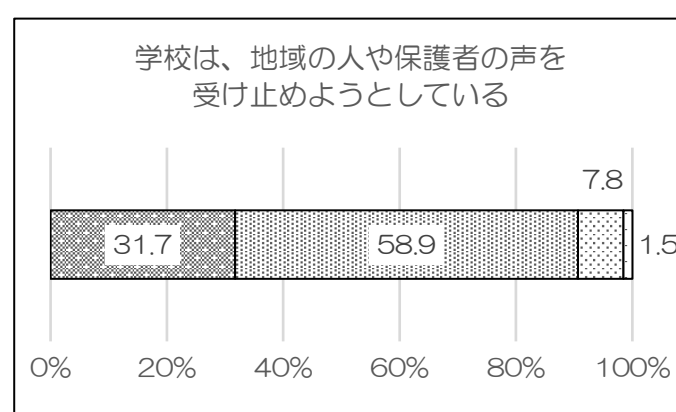
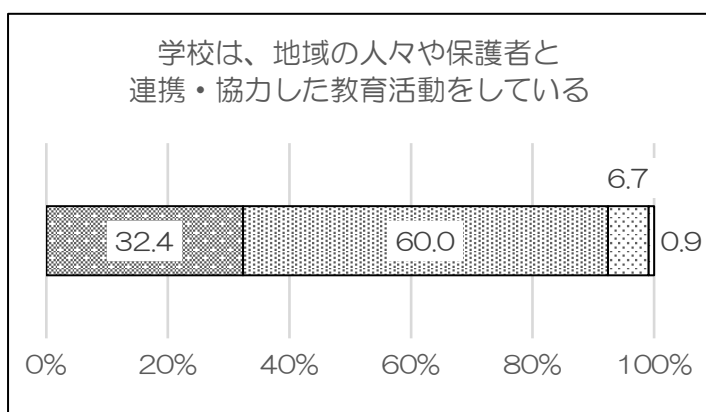
児童の一日(平日)の中で、学校で過ごす時間はとても多くのウェイトを占めています。学校生活の中心である授業を楽しみにして意欲的に参加すること、そして、友達と仲よく過ごすことは、児童の学校生活においてとても重要なことだと考えます。次年度も、保護者の皆様、地域の皆様と協働し、「笑顔あふれる楽しい学校」づくりを進めていきたいと考えています。

<家庭について>



どちらも、保護者の皆様の肯定的評価が92.6%、96.1%と高い割合になりました。保護者の皆様が、家庭で児童のことをよく見てくださっていることが分かります。これからも、よろしくお願いします。

<学校について>



「学校は、地域の人々や保護者と連携・協力した教育活動をしている」92.4%、「学校は、地域の人や保護者の声を受け止めようとしている」90.6%と、学校の取組に高い評価をいただきました。大変うれしく、励みに思います。

「学校の様子や具体的な取組が分かる」につきましても90.6%と高い評価をいただきました。学校だよりや学年だより等の各種たよりやホームページで学校の取組をお伝えできるよう、今後も努めてまいります。

今年度は、2月より学習参観日の学年学級懇談会も再開しました。次年度は、4月の参観日から学校説明会、PTA総会、学年学級懇談会を行います。保護者の皆様から学校に足を運んでいただくとともに、再開されるPTA活動へのご協力も、よろしくお願いいたします。